



ICOMOS Japan

c/o Japan Cultural Heritage Consultancy
2-5-5-13F Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0003, Japan.
Tel&Fax: +81-3-3261-5303
E-mail: jpicomos@japan-icomos.org

2024年9月4日

文部科学大臣	盛山正仁 様
文化庁長官	都倉俊一 様
福岡県知事	服部誠太郎 様
福岡県教育委員会教育長	寺崎雅己 様
北九州市長	武内和久 様
北九州市議会議長	田仲常郎 様
北九州市教育委員会教育長	田島裕美 様

一般社団法人日本イコモス国内委員会
委員長 岡田保良
〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋 2-5-5
岩波書店一ツ橋ビル 13F
文化財保存計画協会気付
Tel/Fax. 03-3261-5303
E-mail. jpicomos@japan-icomos.org

北九州市初代門司駅遺跡に関するヘリテージ・アラート送付について

標記の件について、イコモス（ICOMOS）会長テレサ・パトリシオ博士から関係各位に向けて別添の通り国際ヘリテージ・アラートが発出され、日本イコモス国内委員会あて送付されましたので、邦訳文と合わせ、関係各位宛お送りいたします。ご査収のうえ、趣旨にご配慮を賜れば幸甚に存じます。

なお、こちらの声明文に関するお問い合わせは、担当 溝口孝司（九州大学教授・日本イコモス国内委員会副委員長）（Email: mizog@scs.kyushu-u.ac.jp）へ直接お願い申し上げます。

記

- 1 提出書類
別添のとおり、ヘリテージ・アラート本文、日本語訳、各1通

以上。

2024年9月3日, パリ

文部科学大臣	盛山 正仁 殿
文化庁長官	都倉 俊一 殿
福岡県知事	服部 誠太郎 殿
福岡県教育長	寺崎 雅巳 殿
北九州市長	武内 和久 殿
北九州市議会議長	田仲 常郎 殿
北九州市教育長	田島 裕美 殿
株式会社 JR 九州 会長	青柳 俊彦 殿

Our Ref.: TP/GJ/99

件名 : 北九州市初代門司駅遺跡に関するヘリテージ・アラート

関係各位

日本イコモス国内委員会が表明した懸念に連帯し、また、2024年6月25日付けの私の書簡のフォローアップとして、イコモスは国際的なヘリテージ・アラートを発し、初代門司駅が遺跡が直面している、差し迫った、そして不可逆的な脅威に注意を喚起します。

門司は19世紀後半までは小さな集落でありました。本州と九州を隔てる関門海峡という戦略的な立地ゆえに、門司は1880年代に近代的な都市と交通の要所となるべく選ばれました。近代的な港と鉄道の建設は1889年に開始され、2年後に完成し、門司は日本の石炭輸出、アジア諸国との連絡路、そして近代化推進のための最も重要な港のひとつとなりました。鉄道は、炭鉱、門司駅、港を直結し、近代化に極めて重要な役割を果たしました。門司には近代的なビルや銀行、商社が建ち並び、国際都市として繁栄しました。

初代門司駅が建設されてから23年後の1914年、港により近い場所に新しい駅舎が建設されました。この二代目門司駅は現存し、駅舎として機能し、重要文化財として保存されています。この駅舎は、地元の人々の誇りとアイデンティティの源泉となっています。しかし、初代門司駅は、2023年に初代門司駅に関連する機関庫などの遺構が発掘されるまで、忘れ

られていました。この発見は、近代門司誕生の地の再発見であり、重要な歴史的価値を持つものです。発掘された遺構は、当時の建築・土木技術の物的証拠であり、近世の伝統技術を用いた日本の技術者と、近代的な西洋の技術を習得した技術者の協力関係があったことを示しています。この遺跡の歴史的、建築的、土木技術的、科学的価値は、日本の多くの学者や学会、また、国際産業遺産保存委員会（TICCIH）を含む国際的な学会や組織によって広く認められています。

しかし、2023 年末以来の学会や市民団体からの多数の保存要望の提出にもかかわらず、遺跡が所在する土地の所有者である北九州市は、複合公共施設の建設計画を進め、遺跡の保存を怠っているとイコモスは認識しています。イコモスは、日本そして世界にとって重要な文化遺産を、北九州市が軽視していることを深く遺憾に思うとともに、失望しております。

私たちは謹んで以下の行動を要請します：

北九州市当局に対して：

- 遺跡内において進行中の開発事前発掘調査と複合公共施設の建設を一旦中断すること
- 遺跡の文化財価値を総合的に評価するため、学識経験者との協議を速やかに開始すること
- 市民、専門家、学識経験者と開かれた対話を行い、遺跡の保存について協議すること
- 学術的・専門的委員会を設置し、評価された価値と開かれた対話の結果に基づき、遺跡の保存計画を策定すること
- 初代門司駅遺跡内での遺構の破壊につながる可能性のある建設行為に対しては、いかなるものであっても行為の許可を出さないこと

文化庁及び福岡県に対して：

- 北九州市に対し、初代門司駅遺跡の文化財価値の適切な評価に関する適切な専門的・技術的助言と指導を行うこと

株式会社 JR 九州に対して：

- 門司駅に関連する遺構の保存を確実にするため、門司駅遺跡の範囲内における工事

を中断し見直すこと

イコモスは、北九州市、文化庁、福岡県が初代門司駅遺跡の保存に取り組むにあたり、専門的知識を全面的に提供し、支援します。

敬具

テレサ・パトリシオ

ICOMOS 会長